

保健便り 3月号

2017年3月3日

田島高校保健室

3月3日のひな祭りは、女の子の健やかな成長と幸せを願いながらお祝いする行事とされています。しかし、本来は平安時代を起源とする「五節句（ごせっく）」という行事で、季節の節目に身の穢（けが）れを祓（はら）い、健康長寿や厄除けを願う風習でした。「五節句」には、1月7日「人日（じんじつ）、3月3日「上巳（じょうし）、5月5日「端午（たんご）、7月7日「七夕（しちせき）、9月9日「重陽（ちょうよう）」があります。今年2度目の節目に、皆さんに健康の保持増進のため何ができるか振り返ってみましょう。



保健室利用状況（4月～2月）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
内科的訴え	18	31	49	28	12	56	31	47	50	41	4	367
外科的訴え	4	26	40	36	2	28	12	16	4	6	1	175
相談	2	9	16	22	5	36	38	80	27	37	17	289
合計	24	66	105	86	19	120	81	143	81	84	22	831

内科的訴え

1位 頭痛

2位 腹痛

3位 吐き気・嘔吐

外科的訴え

1位 打撲

2位 切傷・裂傷

3位 皮膚症状

1、2月のインフルエンザ罹患者は5名でした。

登校日は、残り7日間です。引き続き、手洗い・うがいをまめに行って、インフルエンザ等の感染症を予防しましょう。

3月3日は、耳（みみ）の日です



「耳の日」は、難聴と言語障害をもつ人びとの悩みを少しでも解決したいという、社会福祉への願いから始められたもので、日本耳鼻咽喉科学会の提案により、昭和31年に制定されました。日本耳鼻咽喉科学会では毎年「耳の日」に、都道府県ごとに、難聴で悩んでいる方々の相談や、一般の人びとにも耳の病気のことや、健康な耳の大切さを知っていただくための活動を行っています。ちなみに、3月3日は、電話の発明者であり、聾（ろう）教育者であったグラハム・ベルの誕生日でもあります。

耳（慣用句）① 耳を（　　）ぐ 意味：聞かないようにすること。

クイズ ② 耳を（　　）つ 意味：ある音が強く聞こえること。「雨音が耳を（　　）つ。」

③ 耳が（　　）い 意味：他人の発言や批評が自分の弱点をついているのか聞くのが辛いこと。

④ 耳に（　　）まる 意味：聞いたことが心にとまること。聞き捨てにできないこと。

⑤ 耳に（　　）ができる 意味：何度も同じことを聞かされること。

※ 答えは裏に載せました。まだまだたくさん、耳に関する慣用句があります。興味があれば調べてみてください。

① (塞) ぐ ② (打) つ ③ (痛) い ④ (留) まる ⑤ (たこ)